

本製品を使用する前に、製品取扱説明書をよくお読みください

Chengdu XGIMI Technology Co., Ltd. (以下「XGIMI Technology」または「XGIMI」) の製品をご購入、ご利用いただきありがとうございます。お客様の安全と利益のために、本製品を使用する前に製品取扱説明書をよくお読みください

本製品を適切または安全に使用しなかったために生じる可能性のある人身傷害、財産に対する損害、その他の損失について、XGIMI Technologyは一切の責任を負いません

製品取扱説明書 (以下「本説明書」) について

本説明書の著作権は、XGIMI Technologyに帰属します
本説明書に記載されている商標および名称は、各権利所有者に帰属します
本説明書の内容と実際の製品との間に矛盾がある場合は、実際の製品が優先されるものとします

本説明書に記載されている内容または条項に異議がある場合は、購入後7日以内に書面でXGIMI Technologyに申し立てるものとし、かかる申し立てがない場合は、本説明書のすべての内容に同意し、理解して受け入れたものと見なされます

Google、Android TV、およびChromecast built-inは、Google LLCの商標です

Googleアシスタントは特定の言語および国/地域では利用できません。利用可能なサービスは、国/言語によって異なります

HDMI®

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です

dts HD®

DTSの特許については、<http://patents.dts.com>を参照してください。DTS Licensing Limitedからのライセンスに基づき製造されています。DTS、DTS-HD、DTS Studio Sound、およびDTS-HDのロゴは米国およびその他の国におけるDTS, Inc.の登録商標または商標です。© 2020 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

Dolby Audio

Dolby、Dolby Audio、Pro Logic、およびダブルD記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporationの商標です

* モデル: WM03A

* XGIMI Technologyは、本説明書を解釈および修正する権利を留保します

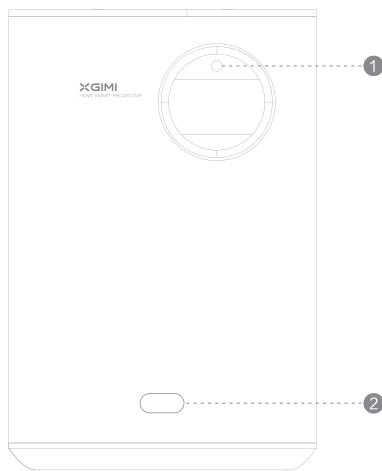
概要

1. 前面図

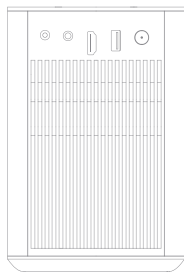
① 自動焦点 ToF部

② 自動キーストーン

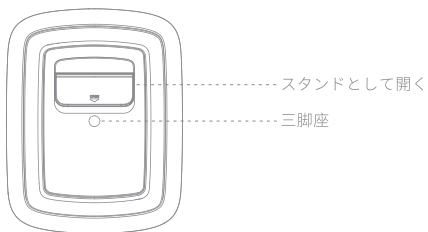
注: 台形補正の失敗を防ぐために、センサーを遮らないようにしてください



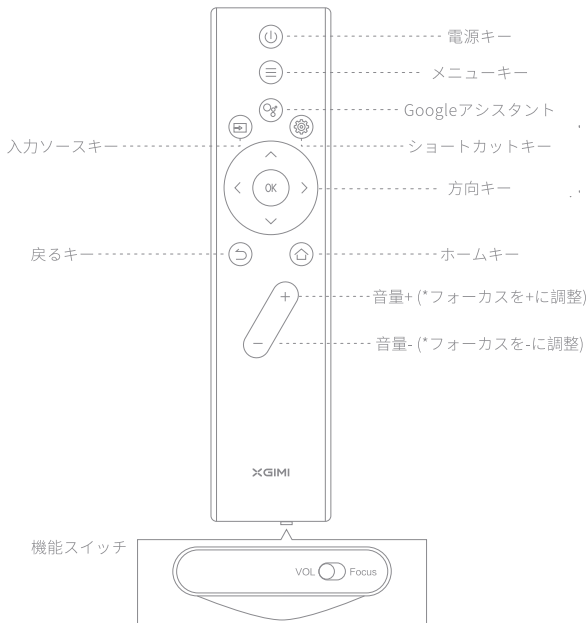
2. ボタンおよび入力の図



3. 底面図



4.リモコン図



- * 音量を調節する際は、機能スイッチを左側 (VOL) にスライドして加減キーを使用します
- * フォーカスを調節する際は、機能スイッチを右側 (Focus) にスライドして加減キーを使用します

5.LEDインディケーターガイド

デバイスボタン	デバイスステータス	LEDステータス	説明
○	デバイスがオン	オフ	バッテリー容量が30%以上です
		赤で点滅	バッテリー容量が30%未満です
	デバイスがオフ	赤で点灯	充電中 バッテリー容量が90%未満です
		緑で点灯。その後オフ	バッテリー容量が90%以上です

6.デバイスステータス

- 画面オフ: 画面だけをオフにします。他の部分は継続して動作しています
- 再起動: デバイスを完全に再起動します
- 休止: デバイスは次回すばやくリブートします
- 電源オフ: デバイスを完全にオフにします。このモードは外出時に最適です。次回デバイスをオンにするには、デバイスの電源ボタンを2回押します

はじめに

1 デバイスのオン/オフ

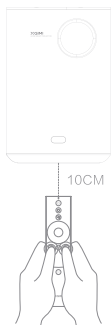
初めてデバイスを使用する際は、誤タッチ防止機能が有効になっています。そのため、デバイスをオンにするには、デバイスの電源ボタンを2回押します。初回使用時は、デバイスを電源に接続することを推奨します

2 デバイスステータス

デバイスステータス	有効にする方法	説明
電源オフ	デバイスの電源ボタンを2回押します	このモードは外出時に最適です。バッテリー寿命を節約できるうえ、誤ってタッチして起動させてしまうのを回避できます
休止	デバイスまたはリモコンの電源ボタンを押します	バッテリーの消費を抑えられます。デバイスは次回すばやくリポートします
画面オフ	リモコンまたはデバイスの電源ボタンを押します	画面だけがオフになります。他の部分は継続して動作しています

操作	トリガー	トリガー方
電源オフ	デバイスの電源ボタン	デバイスの電源ボタンを押して、画面上の手順をトリガーします。手順どおりにデバイスの電源ボタンを長押しします
休止		デバイスの電源ボタンを押して、画面上の手順をトリガーします。手順どおりにデバイスの電源ボタンを再度短押しします
電源オフ	リモコンの電源ボタン	リモコンの電源ボタンを押し、画面の手順どおりに操作を選択します
休止		

3 リモコンのペアリング



- リモコンをデバイスから10 cm以内に近づけて「」と「」を同時に押してください。リモコンがペアリングモードになると、表示灯が点滅し始めます。点滅が開始したらボタンを離してかまいません。発信音が鳴ったら接続完了です
- ペアリングが失敗したら、30秒後に上記の手順を繰り返してください

4 リモコンの機能の説明

・フォーカスの調整

リモコンの下部にある機能スイッチを右(フォーカス)にスライドすると、オートフォーカス機能が有効になります。「音量+/-」ボタンを使用してフォーカスを調整できます。機能スイッチを左(音量)にスライドすると、フォーカスの調整が無効になります。「音量+/-」ボタンを使用してデバイスの音量を調整できます

・ショートカットキー

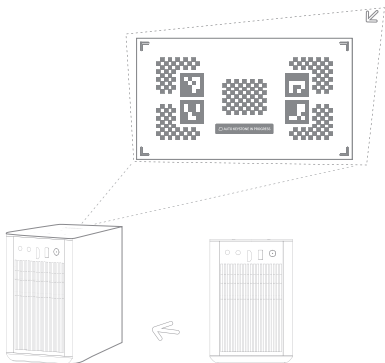
ショートカットキー機能にアクセスするには、設定ボタン「」を短押しします

5 オートフォーカス調整/リモートフォーカス調整

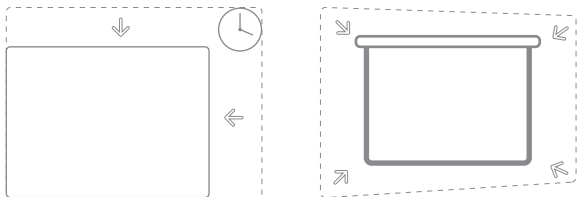
- オートフォーカス調整機能が有効な場合は、デバイスの電源をオンにするかデバイスを別の場所に移動すると、フレームが自動的に調整されます
- オートフォーカスを有効にするには、リモコンの下部にあるスイッチを使用します。スイッチを右(フォーカス)にスライドして、「音量+/-」ボタンでフレームを調整できるようにします


6 自動台形補正

- 自動台形補正機能が有効な場合は、デバイスを別の場所に移動すると、フレームが自動的に調整されます



- 自動障害物回避機能を有効にすると、投影エリアに障害物がある場合、フレームは自動的にそれらの障害物を回避します。自動画面調整機能を有効にすると、投影エリアに16:9または16:10の画面がある場合、フレームは自動的にその画面に合わせられます



- リモコンの  ボタンを押して、「台形補正」ページに移動します。「キーストーンの自動補正」を選択すると、自動台形補正機能が有効になります。「キーストーンの手動補正」を選択すると、フレームの4つの頂点とサイズが調整されます

7 Googleアシスタント

- Googleに話しかけて、自分の声でTVを操作します
リモコンのGoogleアシスタントボタンを押すと、映画や番組の検索、気分にあうおすすめ作品の確認、質問、スマートホームデバイスの操作などを行うことができます

8 Bluetoothスピーカー

- モバイルのBluetooth設定を使用して「XGIMI Halo+」を検索し、デバイスとペアリングして曲を再生します

9 Chromecast built-in™



- Chromecast built-inを使用して、お気に入りの映画や音楽などをTVに簡単にキャストします
- 使い慣れているアプリのキャストボタンをタップするだけで、スマートフォン、タブレット、ノートパソコンからTVにエンターテインメントを配信できます。配信中もスマートフォンの他の機能は使用可能で、ソーシャルメディアの閲覧やテキストの送信、さらに着信の受け取りも行うことができます

10 その他の設定


- リモコンの設定ボタン「」を使用して、任意のインターフェイスでデバイスや画像を設定します
- 各種設定を次に示します

輝度と色	輝度モードを選択して、パラメータを調整します
画像モード	さまざまなシナリオ (映画、サッカー、オフィス、ゲーム) に合わせて異なる画像モードを選択し、ビデオソースまたは信号ソースの画像パラメータを調整します。ゲームモードでは、低レイテンシーのオプションを利用できます
サウンドエフェクト	信号ソースのフレーム比を調整します
焦点調整	長期間使用したことにより、自動焦点機能が以前と比べて劣化した場合は、「焦点調整」でオートフォーカス調整機能を調整します 注:画面上の手順に従ってください
台形調整	キーストーンの自動補正機能の効果が満足できない場合は、「台形補正」でキーストーンの自動補正機能を再台形調整します 注:画面上の手順に従ってください
ジャイロ調整	長期間使用したことにより、自動台形補正機能が以前と比べて劣化している場合は、「ジャイロ調整」でジャイロを再キャリブレーションすると、自動台形補正の効果を最適化することができます。画面上の手順に従ってください

11 充電の手順

- デバイスは公式の標準アダプターで充電してください
- 電源オンの状態で充電すると充電時間が長くなります
- 電源オフの状態でアダプターにつないだ場合、表示灯の赤色点滅は充電中であることを示し、緑色はバッテリーが完全に充電されていることを示します(緑色の表示灯は10秒後に消えます)
- デバイスを長期間使用しない場合は、完全に充電してください。デバイスをオフにするときに、電源オフモードを選択します。(このモードでは、誤タッチ防止機能が有効です。電力消費量が少なく、リモコンを使用してデバイスの電源をオフにすることはできません。ユーザーは、デバイスの電源ボタンを2回押すだけでデバイスをオンにできます。または、デバイスをアダプターに接続して、デフォルトで誤タッチ防止機能を無効にすることもできます。そうすれば、電源ボタンを1回押すだけでデバイスをオンにできます。)また、電池残量低下により生じる回復不可能な容量の損失や破損を防ぐために、デバイスは3か月に1回充電してください。バッテリーは長期間保管すると自己放電するためです

12 システムのアップグレード

- システムのアップグレードは、デバイスのバッテリー残量が50%以上あるか、電源に接続されている場合のみ実行できます
- オンラインアップグレード
システム設定からオンラインアップグレードを実行できます
注: システム設定「」からオンラインアップグレードを実行できます

重要な注意事項

デバイスの正しい使用:

- レンズを目に向けないでください。プロジェクターの強い光により目が損傷する恐れがあります
- デバイスの通常の放熱ができないと、内部電子機器が損傷する恐れがあるため、デバイスの空気出入口をふさがないでください
- レンズの損傷を防ぐため、紙や布が含まれる清掃用具でレンズを直接拭かないでください。レンズ表面のゴミは、きれいなエアブローで吹き飛ばしてください
- 回路基板が雨水、湿気、鉱物を含む液体によって腐食するのを防ぐため、化学薬品、洗剤、またはいかなる液体でもデバイスを洗淨しないでください
- デバイスおよびその構成部品や付属品は、お子様の手に届かないところに置いてください
- デバイスは必ず乾燥した換気の良い環境で使用されるようにしてください
- 極端な温度下では電子機器の寿命が短くなりますので、極度の高温または低温になる場所でデバイスを保管しないでください。デバイスは0°Cから40°Cまでの環境下に置いて、使用してください
- デバイスを加熱機器（乾燥機や電子レンジなど）に入れて乾燥させないでください
- デバイスの損傷を防ぐため、デバイスを強く押し出したり、デバイス上やデバイスの背面に障害物を置いたりしないでください
- 内部回路基板の破損を防ぐため、デバイスを投げつけたり、叩いたり、激しく振動させたりしないでください
- お客様ご自身によるデバイスの分解や組み立てを行わないでください。問題が発生した場合は、XGIMIのアフターサービスに連絡してください
- お客様ご自身による修理を行わないでください。デバイスまたは構成部品が正常に動作しない場合は、XGIMIのアフターサービスへ適時に連絡するか、修理のために工場に返送してください
- イヤホンは注意して使用してください。イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧によって、聴覚を損失する可能性があります
- 明るい光源の場合と同様に、光線を直接見つめないでください。
RG2 IEC 62471-5:2015



RG2

FCC警告

本デバイスはFCC規則のPart 15の規定に適合しています。動作においては、次の2つの条件を遵守しています。(1) 本デバイスは、有害な干渉を引き起こさないこと、および(2) 本デバイスは、偶発的な操作をもたらす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れなければならないこと。ユーザーマニュアルまたは操作説明書は、責任を有する法令遵守当事者からの明示的な承認なく意図的または非意図的にラジエーターを変更および交換すると、ユーザーによる本デバイスの操作ができなくなる可能性についてユーザーが想起できるような記載を含んでいるものとします。マニュアルが紙以外の形態で提供される場合、たとえばインターネットからコンピュータのディスクを介して提供される場合、本項で要求される情報は、ユーザーが当該形態の情報にアクセスできることを前提として、代替形態でマニュアルに含めることができます

クラスBのデジタルデバイスまたは周辺機器の場合、ユーザーによって提供される指示には以下の記述または類似の記述を含めるものとし、それらをマニュアル内の目立つ場所に記載するものとします

注: 本デバイスは、FCC規則のPart 15に準拠したクラスBのデジタルデバイスに対する制限に適合していることについてテスト済みです。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉を効果的に防止することを目的としています。指示に従って設置および使用しない場合、本デバイスは高周波エネルギーを発生および放射し、無線通信に有害な干渉を及ぼす可能性があります。ただし、特定の設置において干渉が発生しないという保証はありません。本デバイスによってラジオまたはテレビ電波の受信に有害な干渉が発生した場合(本デバイスの起動および停止によって判別可能)、ユーザーは以下の1つまたは複数の方法で干渉を修正することが推奨されます

- 受信アンテナの向きを変える
- 本デバイスと受信機との間の距離を広げる
- 受信機が接続される回線とは別の回線の差し込み口にデバイスを接続する
- 販売店またはラジオ/テレビの経験のある技術者にサポートを依頼する
- 本デバイスがスレーブとして、2.4 GHz (2402~2480 MHz、2412~2462 MHz) 帯または 5 GHz (5.180 GHz~5.240 GHz、5.260 GHz~5.320 GHz、5.500 GHz ~5.700 GHz、5.745 GHz~5.825 GHz) 帯で動作している

EAC RoHS
FCC ID: 2AFENWM03A

CEメンテナンス

1. 不適切なタイプのバッテリーに交換すると、爆発の危険性があります。使用済みのバッテリーは指示に従って廃棄してください
2. 本製品は、バージョンUSB2.0のUSBインターフェイスにのみ接続するものとします
3. アダプターはデバイスの近くに設置し、簡単に取り扱えるようにします
4. EUT動作温度範囲: -10°C~40°C
5. アダプター:
プラグは、アダプターの切断デバイスと見なされます
電源およびADP (定格):
入力: AC 100V-240V, 50/60Hz, 1.5A
出力: DC 19.0V, 4.74A
6. 本デバイスは、人体から20cm離れた場所で使用した場合に、RF仕様に適合するものとなります
7. 聴覚を損なう恐れがあるため、大きい音量で長時間聞かないでください

適合宣言

Chengdu XGIMI Technology Co., Ltd.は、本製品が指令2014/53/EUの必須要件およびその他の関連規定に適合していることをここに宣言します

本製品は、一部のEU加盟国での使用が許可されています。たとえば、本製品は次の加盟国で使用できます

5.15~5.25GHz帯での操作は、屋内使用に限定されます。

この周波数は、運用に関する制限または使用の承認に関する要件が存在する

以下の加盟国または加盟国内の地理的区域に適用されます

			
BE	EL	LT	PT
BG	ES	LU	RO
CZ	FR	HU	SI
DK	HR	MT	SK
DE	IT	NL	FI
EE	CY	AT	SE
IE	LV	PL	UK

放射線被ばくに関する声明

リモコンについて、本デバイスは、非制御環境に対して規定されたFCC放射線被ばくに関する制限に適合しています

送信機は、その他のアンテナまたは送信機と組み合わせて設置したり操作しないものとします

LEDプロジェクターについて、本デバイスは、非制御環境に対して規定されたFCC放射線被ばくに関する制限に適合しています。本デバイスの設置および操作においては、ラジエーターと本体の間の距離が20 cm以上である必要があります

注: 5150~5250 MHzの周波数範囲は、屋内使用に限定されます

この周波数は、運用に関する制限または使用の承認に関する要件が存在する以下の加盟国または加盟国内の地理的区域に適用されます

使用済み製品の廃棄手順:



本製品は、リサイクル可能な高品質の材料および構成部品を使用して設計および製造されています



製品上のこの記号は、指令2012/19/EUに基づいて製品が保護されていることを示します

		
BE	HR	AT
BG	IT	PL
CZ	CY	PT
DK	LV	RO
DE	LT	SI
EE	LU	SK
IE	HU	FI
EL	MT	SE
ES	NL	UK
FR		

* メーカー指定またはメーカー提供の付属品/周辺機器 (専用の電源アダプターなど) のみを使用してください

* 本製品は有害な光を放射する可能性がありますのでご注意ください